

水道だより

私たちの暮らしの中の水道 vol.10

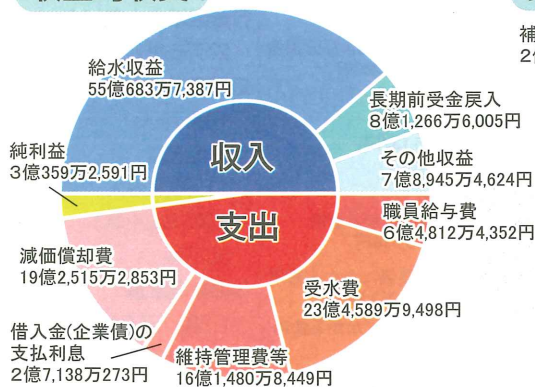
令和2年11月1日発行
経営企画課

☎237-5801 FAX237-5819

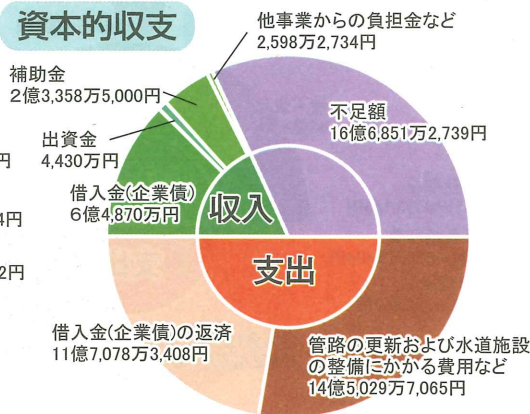
身近にある水道について知っていただくために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は水道事業会計の令和元年度決算状況を見ていきます。

令和元年度決算を見てみよう！(水道事業会計)

収益的収支



資本的収支



業務量の概要

給水人口 27万5,111人
給水戸数 13万4,917戸
年間総配水量 4,000万8,000m³
1日平均配水量 10万9,311m³
1日最大配水量 11万8,618m³
(令和2年3月31日時点)

収益的収入 71億895万8,016円

収益的支出 68億536万5,425円

純利益 3億359万2,591円

※税抜き

資本的収入 9億5,256万7,734円

資本的支出 26億2,108万473円

収支差引 △16億6,851万2,739円

※税抜き、△はマイナスを表す

- 収益的収支…その年度の水道水の供給に必要な費用と収益(主に水道料金)
- 資本的収支…水道を将来にわたって継続するために必要な施設の整備や拡充などに係る支出と、それを行うための財源となる収入(補助金や借入金)



令和元年度決算が出たんだね。以前から経営が厳しいと聞いているけど、今回はどうだったの？



収益的収支(グラフ左)では純利益が約3億円出ているんだけど、資本的収支(グラフ右)では約16億円の不足額が出ていて、全体として見ると非常に厳しい経営が続いているんだよ。



令和元年度はどんな事業を行ったの？



令和元年度に実施した主な事業を見てみよう。

水道管更新事業

約10億8,000万円…老朽管路更新工事(耐震化)など

災害等の大規模停電に備えた非常用発電設備の設置・更新事業

約9,000万円…高茶屋浄水場非常用発電設備更新工事など

配水池への緊急遮断弁設置事業

約5,000万円…一志井生配水池、一志川合配水池

長期前受金戻入…工事などに対して交付された補助金は、資本的収支で収入として計上します。この補助金は、翌年度以降に、収益的収支の長期前受金戻入として、耐用年数で分割した金額をお金の出し入れを伴わない収入として計上します。



約16億円の不足額はどやって支払ったの？



下の計算式を見てみよう。収支を伴わない補填額(減価償却費や長期前受金戻入など)と純利益を資本的収支の不足額に充ててもなお不足する約3億円を貯金から支払ったんだよ。



これまでの貯金より約3億円も減ったんだね。



そうなんだ。水道事業における貯金は、災害に備えるためや施設を新しくするためのもので、とても重要なお金なんだよ。でも、今は水道料金で賄えない分を止むを得ず、貯金から支払っている状況なんだ。津市ではこの貯金額を50億円は必要と考えているんだけど、ついに下回ってしまったんだよ。

貯金の動き

これまでの貯金 52億円 - 令和元年度の不足 16億円 + 収支を伴わない補填額 10億円 + 令和元年度の純利益 3億円 = 貯金残高 49億円

令和元年度に減った貯金 3億円

水道事業の運営費用は、皆さんからの水道料金で賄っています！

